

講義コード	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	開講期
科目名	近代経済学入門					通年
履修前提条件					備考	
授業の目的	この講義では経済学の面白さを知ってもらうことと、社会科学としての厳密性を理解してもらうこと目指している。経済学の考え方をわずかでも身につければ、世の中の見方を大きく変えることができるようになる。これこそが経済学を学ぶことの喜びである。一方、経済学はミクロ経済学、マクロ経済学という2つの側面から経済問題をとらえている。ミクロ経済学では、人間や企業の合理的な判断の結果どのような行動をとるようになるのかを分析している。マクロ経済学では、国全体としての家計や企業の行動を把握することによって、ミクロ経済学では見えていなかった経済システムの整合性を明らかにしている。これらを学ぶことによって、学問としての経済学の意味を分かってもらいたい。					
到達目標	この科目は、経済学の基礎知識を習得することができる。2年次以降の経済学を理解するためには、経済理論における専門用語の正確な理解は必須である。これらが分らないと言語の異なる人と会話しているようなものである。基礎的な専門用語を理解し、経済学の基礎的な分析概念を理解することができるようになる。					
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業外学修時間は、最低でも120時間以上必要である。経済理論であるから、授業だけで理解するのは困難である。特に数式的な理解を必要とする箇所が多いので、苦手な人はさらに多くの学修時間を必要とする。授業外学修のために、練習問題を用意する予定である。					
授業計画	【第1回】 第1期の講義の概要 【第2回】 第1章 経済学経済学の十大原理1 【第3回】 第1章 経済学経済学の十大原理2 【第4回】 第2章 経済学者らしく考える1 【第5回】 第2章 経済学者らしく考える2 【第6回】 第3章 相互依存と貿易からの利益1 【第7回】 第3章 相互依存と貿易からの利益2 【第8回】 第4章 市場における需要と供給の作用1 【第9回】 第4章 市場における需要と供給の作用2 【第10回】 第5章 需要、供給、および政府の政策1 【第11回】 第5章 需要、供給、および政府の政策2 【第12回】 第6章 消費者、生産者、市場の効率性1 【第13回】 第6章 消費者、生産者、市場の効率性2 【第14回】 第7章 外部性1 【第15回】 第7章 外部性2 【第16回】 第2期の講義の概要 【第17回】 第8章 国民所得の測定1 【第18回】 第8章 国民所得の測定2 【第19回】 第9章 生計費の測定1 【第20回】 第9章 生計費の測定2 【第21回】 第10章 生産と成長1 【第22回】 第10章 生産と成長2 【第23回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム1 【第24回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム2 【第25回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム 付論1 【第26回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム 付論2 【第27回】 第12章 総需要と総供給1 【第28回】 第12章 総需要と総供給2 【第29回】 第12章 総需要と総供給3 【第30回】 まとめ					
成績評価の方法	第1期末の中間試験と第2期末の学年末試験の両方で評価する。片方だけの受験では、成績評価はしない。					
フィードバックの内容						
教科書						
指定図書						
参考書						
教員からのお知らせ	授業用の教材・資料および連絡事項を、学内コンピュータネットワークの共有ストレージを利用して掲示する。授業の前には、共有ストレージ（共有フォルダ）を見ること。					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付けます。					
その他						